淡青丸　研究航海報告　　東京大学海洋研究所

航海番号：　KT－04－23 次研究航海

観測海域：　東シナ海の黒潮周辺域

航海期間：

平成 16 年 10 月 8 日～平成 16 年 10 月 15 日

出港日時・場所：

平成 16 年 10 月 8 日 14 時　　博多港

入港日時・場所：

平成 16 年 10 月 15 日 10 時　　那覇港

航海の研究題目：

黒潮流域における浮遊生物に関する研究

主席研究員（氏名・所属・職名・e-mail アドレス◎は@）：

原田哲夫・高知大学教育学部環境生理学研究室・助教授・haratets◎cc.kochi-u.ac.jp

研究内容，主調査者（e-mail アドレス），観測項目（実施観測点）または実施実験の概要：

１．東シナ海における海アメンボ類（*Halobates* 属）分布の生態学的研究（5 月と 10 月の季節間比較），原田哲夫（haratets◎cc.kochi-u.ac.jp），Neuston net: 20min X 1.5 knot, 3 回曳き(実施観測点：St.B0, St.B1, St.B2, St.B4, St.C2, St.C3, St.D1, St.D2 の 8 観測点)

２．ウミアメンボ類の配偶行動や集合行動などの温度反応についての生理学的研究,
原田哲夫（haratets◎cc.kochi-u.ac.jp），実施観測点 St.C2 で採取された *Halobates germanus* 雌成虫 2 個体の滑走行動の温度反応を 10 月 12 日の 15:30 より 22:30 まで実施した。 1 時間ごとに 25ºC→28ºC →31ºC→28ºC→25ºC→31ºC→25ºC の各水温に設定した海水で満たした水槽に移し、水槽上部から各温度条件の後半 30 分間の滑走行動をビデオ記録した。

３．日本近海の小型節足動物及び紐方動物の分類・生態に関する研究，下村通誉(shimomura◎kmnh.jp) Biological Dredge: St. B4-a，約 200ｍ水深, St. C1a，約 100ｍ水深; Beam Troll: St. D1-a’, 500m 水深, St. D1-b’, 800m 水深）

４．窒素固定者の分布と増殖生理に関する研究，古谷研(aa46132◎mail.ecc.u-tokyo.ac.jp), CTD 200m 採水(実施観測点：St.B0, St.B1, St.B2, St.B4, St.C2, St.C3, St.D1, St.D2 の 8 観測点)

乗船研究者氏名・所属・職名：

原田哲夫・高知大学・教育学部・助教授

下村通誉・北九州市立自然史・歴史博物館・学芸員

大塚攻・広島大学大学院生物圏科学研究科・助教授

秋山貞・岡山大学理学部附属臨海実験所・助手

柁原宏・北海道大学理学部・助手

今福道紀・高知大学大学院教育学研究科・大学院学生

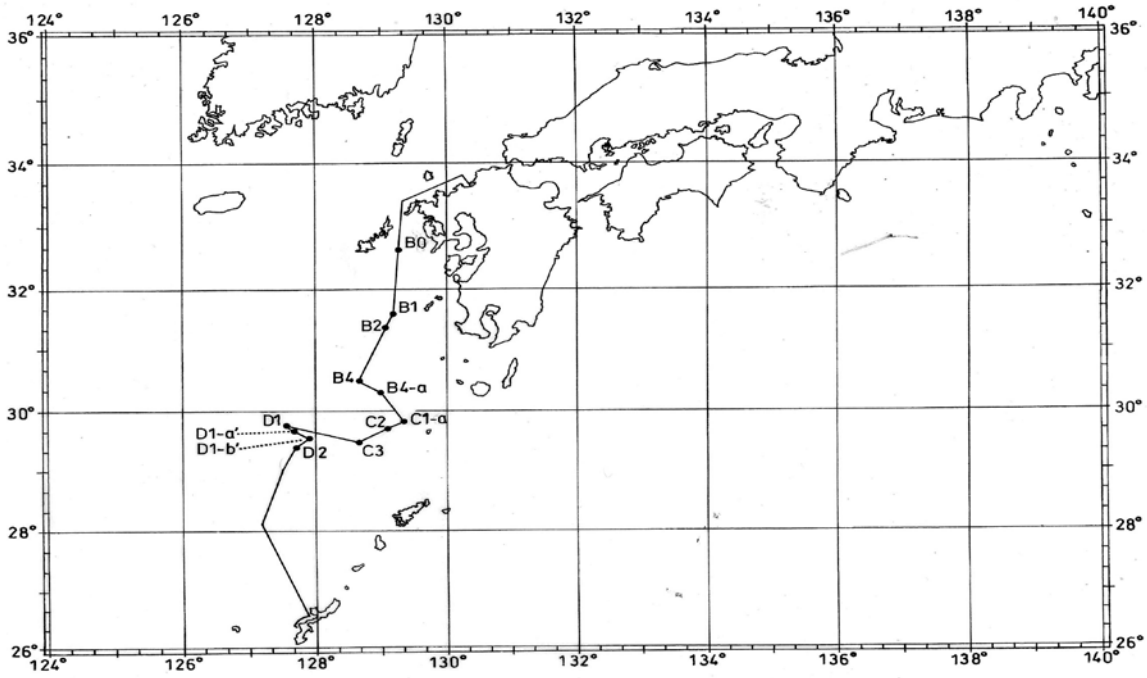
権瑤二・高知大学大学院教育学研究科・大学院学生

宮下友一・高知大学大学院教育学研究科・大学院学生

吉川康平・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院学生

増田貴子・東京大学大学院農学生命科学研究科・大学院学生

奥村智・グローバルオーシャンデイベロップメント・観測技術員

航跡・測点図：

博多港から那覇港に向かって連続して伸びている実線が航跡。航跡の途中に黒丸（12 観測ポイント）で示してあるのが観測点。